

全国特例市連絡協議会総会が開催

特例市災害時相互応援に関する協定を締結

全国特例市連絡協議会（会長・土屋侯保大和市長）の平成18年度総会が7月27日、全国都市会館（東京都千代田区）で開かれ、全国30の特例市の市長らが出席しました。

同協議会は平成12年11月、特例市の指定第1号となった大和市をはじめ10の市（函館市、盛岡市、小田原市、福井市、甲府市、松本市、沼津市、四日市市、呉市）が集まり、「特例市相互の連携のもと、特例市の行財政の円滑な運営及び進展を図り、地方

分権を推進するため」に設立。現在39市が加入し、総会のほか、地方分権を推進するための調査研究活動、国への要望活動などを行っています。

総会では、本年度の事業計画や歳入歳出予算、地方分権の推進に関する要望、特例市災害時相互応援に関する協定などが了承され、同協定の締結が行われました。

総会終了後、同協議会を代表して土屋会長らが首相官邸などを訪問。内閣総理大臣、

総務大臣などへ地方分権の推進に関する要望書を提出しました。



総会であいさつする土屋市長

問い合わせは、市役所企画政策課総合政策担当☎(260)5304、✉s@sakuへ。

あなたの生涯学習をお手伝いします

「やまと生涯学習ねっとわあく」制度発足から15年

学びたい人、学んだことを生かしたい人のニーズにこたえる「やまと生涯学習ねっとわあく制度」が発足後15年を迎えます。

生涯学習センターでは、パソコン、手工芸といった趣味的なものから語学など専門的なものまで、各分野に秀でたかたをボランティア講師として登録。皆さんの学習希望に沿って同講師を紹介しています。

何かを学びたい!と思ったら

生涯学習がいどぶつく生涯学習センターで配布(または同センターホームページ <http://www.city.yamato.lg.jp/shougai/index.html>)に自分の学習希望に合った

ボランティア講師を選び、直接または電話で同センターへ申し込むか、講師へ直接申し込んでください。

対象 市民
期間 学習開始日から最長1年間 1日1回・2時間以内)

講師謝礼 1回2,000円(1グループ4人まで同額) 教材費、材料費などは実費。

ボランティア講師を募集

持っている知識や技能を生かしたい人は、ぜひボランティア講師に登録してください(8月1日現在、186人が登録)。
営利、宗教、政治活動を目的とするもの

を除く。

対象 20歳以上(自薦、他薦を問いません) 申し込み 直接生涯学習センターへ。簡単な面接があります。

輝きの人生・ハッピーフェスタ

ボランティア講師がそれぞれの活動の成果を発表します。講師の活動を直接見学し、皆さんの学習の参考にしてはいかがでしょうか(随時学習相談も受け付け)。

とき 9月10日(日)午前10時
ところ 生涯学習センター

問い合わせは、生涯学習センター☎(260)5304、✉shougaiへ。

額賀防衛庁長官と会談

在日米軍再編に関する閣議決定から2か月を経た7月26日、土屋市長は防衛庁で額賀防衛庁長官と会談しました。

その中で、日米協議の進捗状況の説明を受けると同時に、厚木基地の空母艦載機移駐の早期実現と、地元の負担軽減を図るための施策の実施などを求めました。

これに対し、額賀長官は、「基地周辺の自治体および住民に大変な負担をかけていることは十分承知しており、現在、日米合意内容の実現に向けて最大限努力している。空母艦載機の移駐は2014(平成26)年の完了を目指しているが、まだ時間がかかるため、騒音軽減など諸問題の解消に向けた周辺対策にこれからも努力していく」と述べました。

今後、在日米軍再編が実施段階に入ることから、市では引き続き厚木基地の負担軽減が確実に実現されるよう、国などの取り組みを注視するとともに、基地にかかわるさまざまな問題の解決に向けて取り組んでいきます。

問い合わせは、市役所基地対策課基地対策担当☎(260)5310、✉kichiへ。



防衛庁で額賀長官と会談

自動交付機をご利用ください

申請書を書かずに住民票と印鑑登録証明書を発行

市内には現在、5台の自動交付機が設置されています。オンラインワンカードまたは大和市民カードがあれば、カードを挿入して暗証番号を入力するだけで、住民票と印鑑登録証明書を取得することができます（手数料は1通300円）。

自動交付機は、土・日曜日や祝日（午前8時30分～午後7時）も利用できます（年末年始、メンテナンス時を除く）。

- 1 自動交付機の設置場所 市役所の庁舎内・庁舎正面玄関前、中央林間連絡所内、横浜銀行大和支店内、渋谷分室内の5か所。
- 2 自動交付機で印鑑登録証明書を取得するには、カードへの事前登録が必要です。印鑑登録証とオンラインワンカードまたは大和市民カードを持参のうえ、市役所市民課、渋谷分室または各連絡所へお越しください。
- 3 横浜銀行大和支店内の交付機は、土・日曜日、祝日のみ午前9時から利用となります。

自動交付機を利用するには、オンラインワンカードまたは大和市民カードが必要です。なお、住民基本台帳カードでは自動交付機の利用ができません。

ICカードの新規交付 オンラインワンカード 大和市民カード

資格 は大和市に住居登録をしている人、 は大和市に住居登録または外国人登録をしている人。

申請 平日（午前8時30分～午後5時）に



問い合わせは、市役所市民課証明交付担当 ☎(260)5108、5365、✉shiminへ。

9月18日(祝)は、市役所本庁舎の電気設備点検のため、終日市内すべての自動交付機が利用できません。ご迷惑をおかけしますが、ご理解をお願いします。

市役所または渋谷分室で申請してください（のみ土・日曜日（正午～午後1時を除く）も市役所で受け付けをしています）。
は本人が、 は本人または同一世帯員が、申請時と交付時の2回、窓口に来てください。いずれも作成までに1週間ほどかかります。
持ち物 運転免許証、パスポート、保険証など本人を証明できるもの。のみ顔写真掲載可（横3・5センチ×縦4・5センチ）
手数料 500円
受け取り 本人あてに送付する照会文書を市民課または渋谷分室へ持参してください。

一人で悩まないで！

人権擁護委員会にご相談ください

市では10人の人権擁護委員が、差別やいやがらせなど、人権侵害に関する相談を受け付けています。相談は無料で、秘密は厳守されます。気軽ににご相談ください。

市内の人権擁護委員

（7月1日現在・敬称略）

- 小川新次（上和田） ☎(267)0384
- 伏見暢子（下鶴間） ☎(274)5363
- 佐藤忠良（下鶴間） ☎(274)3202
- 更井光世（福田） ☎(267)1174
- 二見 武桜（森） ☎(261)7638
- 鏡 絹子（林間） ☎(275)7261

- 渡邊政義（上和田） ☎(267)0591
- 鴨下禎子（林間） ☎(274)0459
- 山崎トク（中央） ☎(263)6431
- 岩本靖子（草柳） ☎(264)1637

定例相談

とき 毎月第2・4木曜日午後1時30分～4時
ところ 市役所広聴相談課 先着順

問い合わせは、市役所広聴相談課広聴相談担当 ☎(260)5175、✉kouchoへ。

「環境立市フェア2006」フリーマーケット出店者を募集

11月4日(土)・5日(日)に開催する「環境立市フェア」で家庭内の不用品を展示、販売する「市民フリーマーケット」の出店者を募集します。

とき 11月4日(土)・5日(日)午前10時～午後4時

ところ 市役所駐車場

対象 事業として営んでいない18歳以上の市内在住者

募集数 各日約100ブース（1ブース約

2席×4・5席）

出店料 1日1,000円(当日徴収)

遵守事項 家庭内での不用品のリサイクル

ルを目的とする、食品、動物、オートバイなどを販売しない、搬入・搬出は指定された時間に各自で行う。

申し込み 10月6日(金)(必着)までに、

代表者名(ふりがな)、住所、電話番号(あれば携帯電話も)、希望日(両日可)。

はがき1枚につき1日分、主な販売品目を明記し往復はがきで(返信面に返信先を明記)。定員を超えた場合は抽選し、結果を全員に通知。当選後、説明会あり。

問い合わせは、環境管理センター収集業務課 ☎(260)5765、✉shunshuへ。